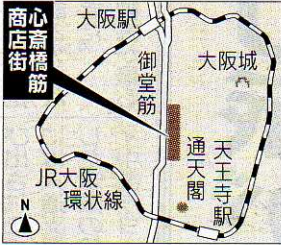


「今日は見に来ただけ。明日また来て買います。」
 新婚旅行で来日した中国・江蘇省在住の女性(24)は「サンリオギャラリー」(大阪市)で「ハローキティ」のぬいぐるみに囲まれ興奮気味だ。買い物客の間では中国語が頻繁に飛び交い、店員も中国語で応対する。

サンリオギャラリーは大阪・ミナミの心斎橋筋商店街にある。中国人ツアー客は大阪城や通天閣を見物後、道頓堀のネオン看板や「くだおれ人形」を見学し、そごうや大丸など百貨店で買い物

外国人が支える観光地 ⑤

大阪市



をするのが「定番コース」。そこに最近、サンリオが加わった。

店の入り口にある身長一四〇センチのキティ像前では、修学旅行で訪れた中国人女子学生らが相次ぎ記念写真を撮る。キテ

中国語 買い物街にぎわす



来日し、キティちゃんグッズを買いに来た中国人新婚カップル(大阪・心斎橋の「サンリオギャラリー」)

光客へのビザ発給制限緩和も追い風だ。大阪市は上海などで観光誘致イベントを繰り広げ、中国人客の取り込みに動く。

ブランド店が軒を連ねる御堂筋、庶民的な心斎橋筋。中国語ガイドブックで買い物街と紹介される。大阪市内の宿泊客一人当たり消費額は日本人が三万四千円程度なのに対し、外国人は約八万五千円と倍以上。財布のひもを引き締める日本人の消費が減少した分は、外国人旅行者が補うかもしれない。

イちゃん人気は国内にとららず、いまや格好の土産だ。特に品質が高い日本製があこがれの、和柄の小物入れや手ぬぐい、携帯電話のストラップなど海外で手に入りにくい商品を競うようお土産だ。特に品質が高に買っていく。一万円以上使う学生も珍しくないという。

の外国人観光客数は前年度比一〇・九%増の百五十三万人。関西国際空港発着の国際線増便で、中国や韓国からの入国者数が伸びている。中国人観

(おわり)